

作成 令和3年6月28日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第2回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和3年6月24日～
議事録（抜粋）

2 今後のコミュニティセンターの稼働率・料金について

質疑概要：

別府コミュニティセンターは2016年11月の開設から約5年が経過している。別府コミセンは、地域に根差した施設を目指している中、運営における課題が明らかになってきている。

地域からも、もっと活用できるように使用料の引き下げ等の要望もあり、この5年間の経過も踏まえ、コミュニティセンターの稼働率と料金について、議論を行った。

○松本議員

2 今後のコミュニティセンターの稼働率・料金についてですが、別府コミュニティセンターにおいて、さらに地域に根差した施設をとという中で、地元から料金引き下げの要望があります。

そこで現状の料金設定等の経過についてお聞かせください。

(略※)

○森西議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

別府コミュニティセンターの料金についてのご質問にお答えいたします。

本施設の使用料につきましては、全てのサービスを税金で負担するのではなく、サービス利用者に適正な負担を求め、受益と負担の適正化を図ることを目的に、平成28年2月に策定いたしました「摂津市使用料・手数料等の見直しに関する基本方針」に基づき、人件費や物件費の原価と貸出面積等を踏まえ、使用料を算定しております。

また、これまで別府公民館をご利用いただいていた登録クラブの方に対しましては、公民館の使用料からコミュニティセンターの使用料へ移行する激変緩和措置

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

といたしまして、平成28年度が8割5分、平成29年度が7割5分、平成30年度が6割、令和元年分が5割の減免措置を設けさせていただいております。

(略※)

○松本議員

次に今後のコミュニティセンターについてですが、料金設定経過、緩和措置については理解しました。

別府コミュニティセンターは開設後、約5年経過します。施設、設備が新しくなり、気持ち良く利用できるとの声も聴きますが、一方、料金が高く使いにくいという声もあります。

この5年間の利用者の意見はどのように把握をされているのか、また施設の稼働率についてもお聞かせください。

○森西議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

(略※)

別府コミュニティセンターの利用者のご意見や稼働状況についてのご質問にお答えいたします。

別府コミュニティセンターをご利用される方のご意見をお聞きするために、指定管理者が毎年アンケートを実施されております。

令和元年度と令和2年度のアンケート結果のうち、職員の待遇や設備についての項目では、70%以上の方が「非常に良い」「良い」と回答いただいております。「悪い」「非常に悪い」と回答いただいた方は約1%で、概ね良い評価を頂いていると認識しております。

また、自由に意見をご記入いただく、感想の項目につきましても、「新しく綺麗である」「気持ちよく利用できる」などの評価の感想をいただいておりますが、使用料が高いというご意見も毎年10件以上をいただいております。

稼働率につきましては、新型コロナウイルスの影響が大きいため、令和2年度を除いた数字で申し上げますと、平成29年度が16.8%、平成30年度が24.4%、令和元年度が25%ございました。

一方で、コミュニティプラザの稼働率は、平成29年度が46.6%、平成30年度が49.6%、令和元年度が45.9%であり、別府コミュニティセンターの稼働率と比べますと大きな差があります。

大きな差が生じる理由につきましては、各施設で実施されている令和元年度のアン

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

ケート調査結果では、別府コミュニティセンターを利用された方は、58.6%が別府小学校区にお住まいの方で占められています。コミュニティプラザを利用された方は、摂津小学校区が21.1%で最も多くなっておりますが、全小学校区の利用もあり、市外の利用者の方も31.4%となっており、コミュニティプラザは、市内・市外を問わず様々な方が利用されており、利用者層の違いが主な理由と考えております。

一方で、使用件数につきましては、閉館いたしました別府公民館の平成27年度の使用件数1,048件に対しまして、別府コミュニティセンターの使用件数は、平成29年度1,924件、平成30年度2,503件と増加しており、令和元年度は、新型コロナウイルスの影響で3月9日から3月末まで施設の貸館を停止していましたが、使用件数は2,435件と平成27年度の別府公民館の使用件数に比べ、2倍以上に増加しているところでございます。

○森西議長

松本議員。

○松本議員

市民の声、そして稼働率等の状況については理解をいたしました。

お聞きするに阪急摂津市駅前のコミュニティプラザと別府コミュニティセンターの利用者の状況を踏まえ性質が異なっている事が明らかになってきたものと考えます。

これから味生コミュニティセンターの基本構想策定の予算を計上されていますが、料金の設定について、どうお考えかお聞かせください。

○森西議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

味生地域のコミュニティセンターの料金についてのご質問にお答えいたします。

令和2年度に実施いたしました、「摂津市コミュニティ施設に関する基礎調査業務報告書」をもとに、本市に求められるコミュニティ施設のあり方を定めて参ります。

その後、このコミュニティ施設のあり方を踏まえ、令和3年度中に、味生地域のコミュニティ施設の規模や機能についてまとめた基本構想を策定する予定でございます。

コミュニティ施設のあり方を検討する際には、多くの方々に利用して頂ける地域に根ざした施設となるよう求められる機能や規模等について検討し、使用料を設定して参ります。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○森西議長

松本議員。

○松本議員

是非、本市に求められるコミュニティ施設のあり方を定めるということで、そこは別府コミュニティセンターの状況、市民ニーズも反映して頂きたいと思います。

そのうえで、基本構想策定に向けての、稼働率の向上、料金の設定について検討して頂き、コミュニティセンターが市民の方に活発に、効率的に利用される施設とされるよう強く要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 第三者委員会の提言を踏まえた対応について
- 2 今後のコミュニティセンターの稼働率・料金について
- 3 ふるさと納税制度の改革について
- 4 就学前教育の課題と言葉の大切さについて
- 5 水害対策など継続性ある防災政策について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]